

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	履正社スポーツ専門学校北大阪校
設置者名	学校法人履正社

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。 シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。	
授業計画書の公表方法	https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
各授業科目のシラバスに明記 ・定期試験(100%~70%の配点、レポート課題がある授業に関しては加算する) ・出席率(60%を下回るとテスト受験資格がなくなる。) ・授業中に実施する復習テスト(10%~30%の配点がある教科もある) ・質問や発言などの積極的な授業態度(5%程度加点) ・レポート課題の提出(10%~30%の配点がある教科もある)	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優(3ポイント)、良(2ポイント)、可(1ポイント)、不可(0ポイント)とし、成績分布を把握している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。 なお卒業に必要な単位時間数はスポーツ学科（全コース共通）1860 単位時間とする。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	履正社スポーツ専門学校北大阪校
設置者名	学校法人履正社

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.riseisha.ac.jp/pdf/shugaku/zaisanmokuroku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.riseisha.ac.jp/pdf/shugaku/shikinshushi.pdf
財産目録	https://www.riseisha.ac.jp/pdf/shugaku/zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	https://www.riseisha.ac.jp/pdf/shugaku/jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.riseisha.ac.jp/pdf/shugaku/kansahoukoku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 野球コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860時間	1350 時間	90 時間	240 時間	180 時間	
単位時間／単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の内数		77人	0人	4人	10人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優（3ポイント）、良（2ポイント）、可（1ポイント）、不可（0ポイント）とし、成績分布を把握している。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/</p> <p>一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2.履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3.入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4.面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	5人 (19.2%)	17人 (65.4%)	4人 (15.4%)
(主な就職、業界等) アスリート、指導者、企業スタッフ			
(就職指導内容) 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、サービス接客検定等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	12人	17.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、一身上の都合、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。 中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 テニス・ソフトテニス スコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860 時間	1350 時間	90 時間	240 時間		180 時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		50 人	0 人	2 人	11 人	13 人	
カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)							
(概要) 履正不畏の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の 3 月末までに作成し、4 月のオリエンテーション終了後に公表する。							
成績評価の基準・方法							
(概要) 年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。 最終成績をポイント制にし、優 (3 ポイント)、良 (2 ポイント)、可 (1 ポイント)、不可 (0 ポイント) とし、成績分布を把握している。							
卒業・進級の認定基準							
(概要) 卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。							
学修支援等							
(概要) https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/ 一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。 1.求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2.履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3.入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4.面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	15人 (42.9%)	17人 (48.6%)	3人 (8.5%)
（主な就職、業界等） テニススクール、指導者、インストラクター、企業スタッフ			
（就職指導内容） 就職試験対策（筆記・面接）、業界説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツ系資格（トレーナー、指導者）、サービス接客検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	3人	4.7%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、一身上の都合、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制を導入し、学生1人1人の学習等をサポート。 中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科 サッカーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860時間	1350 時間	90 時間	240 時間	180 時間	
単位時間／単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の内数		17人	2人	1人	9人	10人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 履正不敗の教育理念に基づき、教育目標を設定し各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・到達目標・成績評価の方法および、履修にあたっての注意事項を記載している。シラバスは新年度開始前の3月末までに作成し、4月のオリエンテーション終了後に公表する。							
成績評価の基準・方法							

<p>(概要)</p> <p>年度末に進級判定会議を行う際、単位取得率および出席率の合計で順位付けを厳正に行い、優秀者には授業料の減免を行っている。</p> <p>最終成績をポイント制にし、優 (3 ポイント)、良 (2 ポイント)、可 (1 ポイント)、不可 (0 ポイント) とし、成績分布を把握している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>卒業・進級要件については、学則に定める教育課程の所定の科目を履修し、規定の出席率をみたし、指定された単位数を修得し、卒業判定会議で審査し、校長が認定。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>https://www.riseisha.ac.jp/jobdata/career/</p> <p>一人一人の学生を担当とキャリア課で連携してサポートし、保護者の方とも密に連絡を取り合い万全のサポート体制をとっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 求人情報を自由に閲覧でき相談できるようにしている。 2. 履歴書・エントリーシートの書き方をきめ細かく指導している。 3. 入社試験対策として小論文・作文作成の補習を実施している。 4. 面接試験対策としてマナー指導や模擬面接を行っている。

<p>卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	人 (0%)	人 (0%)	人 (0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>サッカースクール、指導者、企業スタッフ</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職試験対策 (筆記・面接)、業界説明会</p>			
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>スポーツ系資格 (トレーナー、指導者)、サービス接客検定等</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>令和 5 年 4 月より新設コースとして設置。現在 1 年生のみ在籍</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任制を導入し、学生 1 人 1 人の学習等をサポート。 中退者に対しては本人の希望があれば就職先の斡旋。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スポーツ学科 (全コース共通)	100,000 円	740,000 円	390,000 円	別途教材費
修学支援 (任意記載事項)				
履正社特別奨学金・特待生制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) https://www.riseisha.ac.jp/school/shugaku/		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 全日本鍼灸学会	2020年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
ラックヘルスケア株式会社	2020年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
やなぎ整形外科クリニック	2020年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
なかたに鍼灸整骨院	2020年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
ハギーコーポレーション	2020年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
むらかわ接骨院	2020年4月1日～ 2023年3月31日 (任期終了)	企業等委員
スポーツインテリジェンス株式会社	2022年4月1日～ 2026年3月31日 (任期更新)	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.riseisha.ac.jp/school/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.riseisha.ac.jp/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。